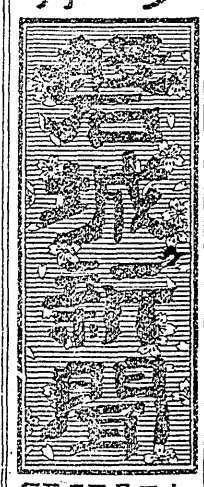
夕刊



十二月三日發行

定價　月極金五拾錢　郵税金六拾錢

（日曜祭日翌日休刊）

磐城新聞社

福島縣磐城郡平町大字鍛冶町一番地
電話平一番
振替貯金口座仙臺一五〇〇九
發行人　柏木勇
印刷人　柏木勇
印刷所　磐城新聞社
發行所　磐城新聞社
定價　月極金五拾錢　郵税金六拾錢
廣告料　一行一回金拾錢

『桃源叢書』刊行趣意

藝術と宗教の兩面から、生活の深化と、道心の擴充とをはかり、すこしでもそれに役立つ仕事をしてゆきたいといふのが、わたしたちの一生を賭けた念願であります。人生の實相は人間の眞實、囚はれぬ生活、それに觀入し、それを領解しそれを生きるものの實感をもつて、他のたましひにも觸れてゆきたい。かうした道を欣求する信と愛とにむすばれて、わたしたちの三人は大正十二年に桃源社を創設いたしました。爾來隨分十年、やうやく機も熟しましたので、今回具体的な事業に手をそめることになりました。

金子達雄兄の親戀畫人研究もすでに二十年の歳月をけみし、その体驗と蘊蓄はわたししとしても一日も早く心ある人々につたへたいし後藤清一兄は數年來構造社の會員として道念のあふれた彫刻を發表し、日本彫刻界に異彩ある地歩をしめて居ります、わたくしはまだ〳〵徒弟時代を脱けきれませんが、よき師友の提撕によつて、今後一層の勉强をしたいと心組んでをります。

まづその事業の第一歩として後記のやうな『桃源叢書』を逐次刊行いたし、毎月四頁の師友通信『桃源』を發刊いたしたいと思ひます。わたしたちの心を打ち、私たちが良しと信じたものを餘頁。定價各三十錢）發行各一冊にまとめ、私たちの心をこめて、諸賢の心にさささげたい、それによつて更にふかい魂の契りをむすばしていたゞきたいと熱望してやみません。わたし自身のものはともかくとしまして、私がせひ諸賢に讀んでいたゞきたいと念ふものだけを上梓したいと考へます

とはいへ、わたしたちはいつもながら貧しく、ゆとりのない生活者であります。この事業達成のため左のごとき規定を設け、有志の方々から御喜捨を仰ぐことにいたしました。

□喜捨は、かりに一圓以上といたします。

□御喜捨くださつた方には桃源叢書逐次進呈いたします。（御希望により同じもの又は別種）

□御送金は末記の振替を御利用下さい。

□御喜捨下さらぬ希望者へも、勿論よろこんで頒布いたしますから御一報下さらば幸甚に存じます。

桃源社…津川公治、後藤清一、金子達雄

桃源叢書

○ある日のミレイ他一篇（戯曲集）津川公治著　○宗教と眞實（感想集）金子達雄著　○天才の言葉（感想集）後藤清一著　○胎金抄（感想集）山村暮鳥著　○光（詩集）高橋元吉著　○影心雜記（感想集）津川公治著　○火精珠（詩集）津川公治著　○ばんでん山（童話集）千葉省三著　○狐の民（童謡詩）島田忠夫著

（以下續刊。刊行順序不同）

三五版各冊九ポイント七十餘頁。定價各三十錢）發行

橋本書店振替東京八九四

12月4日

△京都大極殿燒失す（慶長七）△鮮人二百餘名横濱法廷にて亂鬪す（昭和四）△京津電車顚覆事件の眞相發表さる（同五）△行政整理で約五萬人整理七年四月一日迄に斷行に決す△全國勞農大衆黨脱黨組新黨組織を聲明前駐日米國大使マクヴイ氏死去▽英國元勞働相マクナマラ氏死去（同六）

社會の今日

○

鯨大きく沈みし後の潮
かな　風　水

うす月を雁なきたつる
霜夜かな　石　鼎

初冬の憂鬱　詩

プラタナス　山本生

この秋にはきつと米の値が出るだろう
さうしたら
お花坊を嫁にもらへる
年老いたお母の喜ぶ顔も
みれる
俺あ、そればつかしが
樂しみに
働いたうんと働いた。
豊作だつた、豊作だつた
だが旦那樣の所へ上納した
肥料代を拂つた後とあ
灰色の藁と憂鬱と空腹が
殘されただけだ
俺あお花坊の首にすがり
ついて
泣いた、泣きじやくつて
俺あ言つた
來年、來年こそあ米の値
が出るでなあ……
それもうつろな去年の夢
——。
お花坊は岡谷の工場へ賣
られて行つた
俺あ何本もの借用證文を
しよつた
俺あいゝ、俺あ幾らでも
働く
だが……
毎日　毎夜襲つてくる
二十の皿の叛逆を
燃え上る胸の炎を
一体何年ごらへればいゝ
と言ふのだ。

—三二、初冬—

孤景

プラタナス　關研治

茫洋たる暮色に一つの姿は漂ふ
敗殘が自然の法則か？
氷霜と餓のつゞく無限の
行路に
寂寥の漂泊の姿
惡魔より孤獨の乞食が暗
に包まれてゆく
……
過去より未來へ
久遠の郷愁を追ひ
悲哀の否定を知らず
憂ひ疲れて
滅び行かんか
寂寥の漂泊の乞食が
……
噫
自然の點影が乞食か
なんてみすぼらしい人間
の投影なんだらう。

一九三二、一一、三〇

拈華微笑

◇

蘇炳文に監禁された郡出身者四名。神かけて健在を祈る

◇

天地寥廓の日曜

◇

あす熱球

◇

バンチウこんだ。へイせうですかなんて負けぬ事。確かりつ

◇

病患者と狡い奴は良い取組だ

◇

玉にはよろしいでせう、なんて新築落成玉よしの酒落

講談　お蘭陀お蝶

（198）

波邊獄禪作
布施長春畫

『そ、そのやうな情ないことを仰しやらずにモシ、坊さま、活神さま、む、娘の援はれた先を敎へてやつてくださいまし、こ、此の與平が一生のお願ひ、お、お慈悲でございます。娘を取戻しさへ爲ますれば最う家も・屋敷も、田畑も要ることやござりませぬ、寄進につけとのお言ひ付けなら皆な賣拂つて燈籠の一つや二つは建てまする、モシ坊さま、不憫と思し召してこ、こ、此の老爺のお願ひを聞屆けてください。こ、此の通りでございます』

ほろ〳〵と熱い涙を萎枯れた頬に玉奔らせて、頻りに拜み立てる與平を寂光坊は、冷かに看下してゐたが、徐て鷹揚に頷いた。

『可し〳〵懺悔の一心が見えたからには、何とかいたして救つて進せよう、併じ困つたことにはな恰ど先刻阿羅、三千ぎやてい、十八伽藍の佛天にお賴み申し窺へ立てることに爲よう、待つしやれ〳〵』

寂光坊は直と護摩壇に向つて祈の用意をした。

漂々として石窟に單むる煙のさう然たる嵐に煽られて、旗の如くに洞の外面へ吹き飜る、その紅き炎を不動の石像へなびかせ〳〵、護摩壇の前に動乎と坐つて口に青松葉を咥へ手に獨鈷を握つて一心に呪を念じてゐる怪僧の後姿が、半明暗の魔界を背景におぼろ〳〵と映じ出された時は、いかにも物怖ろしく、けだかく有難い氣がせられて、四人はむびえるやうに伏拜んだ

程經てから寂光坊はちり

今は最う居ない、伏見の方へ連れて行かれて惡い奴共に手籠にされたのを抗ひ立てた爲め、大きに立腹いたしてな』

『へえ？』

『既に殺害されようとしたそれを私が祈の力で押へて置いた。最大丈夫敵は手足は不動尊の、コレ此處に持つてござる繩ぢや、それでもつて、緊乎と縛つて置いたから命に別狀はないと仰被る』

『いや有難いことで』

『そればかりではない、前立のこんがら童子をに遣はしの上に本人の身を護つて下さるとのお告ぢや』

『やれ〳〵まあ』

ラヂオ

……四日…〔日曜〕…

仙臺　JOHK

△前九、〇〇　氣象

△九、一〇A　榮養料理（大根の味噌汁…主料理　アサリの甘辛煮、甘藷のから揚げ…副料理）榮養研究所

△九、三〇（子供の時間）童謡と唱歌　東京市大森區第二小學校兒童

△一〇、〇〇B　宗教講話（我等の使命）天理教海外傳道部長天理外國語學校長權大敎正中山爲信

△一〇、四〇A　講演（蒲洲里事件の眞相）酒井隆

△一一、一〇　謡曲講座（謡の道しるべ）實演…觀世左近　解説…池内信嘉

△正午　時報　氣象

△後〇、三〇A　ニュース

△〇、五〇B　吹奏樂　大阪市音樂隊

△一、二〇H　民謡（一、國粹音頭　二、鳴子音頭　三、會津玄如節　四、會津高田小唄　五、會津大津繪　六、長持唄）

△一、五〇A　放送舞臺劇（月形半平太）行友李風…作　中井哲　外

△二、五〇A　運動競技（明治對早大ラグビー試合狀況）

△三、四〇A　氣象

△四、〇〇　ニュース

△六、〇〇B（子供の時間）童話劇（ペアトリスの奇蹟）BKコドモサークル

△六、三〇H　趣味講演（詩壇に於ける民謡の地位と現狀）渡邊波光

△七、〇〇A　ニュース　氣象

△七、三〇A　新内

△八、〇〇H　箏曲（一、松上の鶴　二、富士の根）

△八、三〇H　詩吟（イ、九月十三夜　ロ、國体篇　ハ、偶感　ニ、蒙古來　ホ、金州城　ヘ、雪中行軍　ト、欲出題壁）

△八、五〇A　忠臣藏花暦（浪花節…碓川與惣兵衛）木村重友

△八、三〇A　ニュース　氣象

祝七五三

大野寫眞館

平町仲田町

特に勉强致します!!

酒場戰線異狀あり

カフエーセカイのダブル　ウルトラ　サービス

御來店の皆樣にモレナク紫煙の香ゆかしきバット奉仕進呈

期日（十二月二日同三日）

平一　世界

味覺の出前……は電46

平館

割引券（ワリビキケン）二十錢券一枚十五錢

平町土橋　（万）（マルマン）

電話四八九（ヨハク）

七五三子供服大賣出

お嬢さまやお坊ちやまの可愛らしい御祝用子供服子供オーバを種々……取揃へ店頭に陳列して御座います。

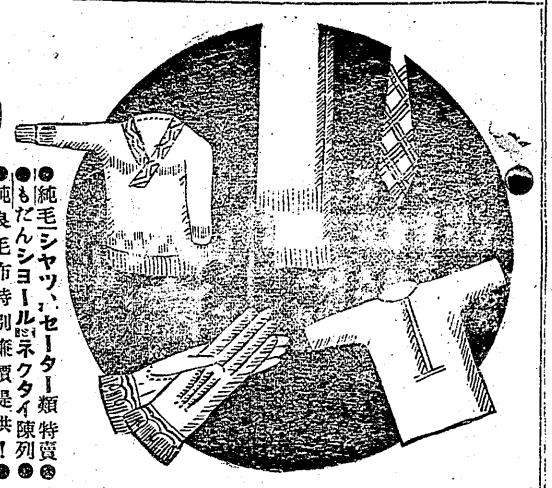
◆女兒服　色スル　ビロード　一一、一〇ヨリ　二、三〇ヨリ

◆男兒服　スコッチ　茶メル　一、九〇ヨリ　三、四〇ヨリ

◆男女柄オーバ　二、〇〇ヨリ

◆メルトンオーバ　二、六〇ヨリ

ふかや洋服店　平電二三〇二



（正）

純毛シャツ、セーター類特賣

だんショール、ネクタイ陳列

純良毛布特別廉價提供！

中野洋品店

平二・電五三

家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の元泉に化學的操作を加へたる草津温泉湯の素（ゆ）家庭風呂に外用に！冬の保健衛生に最も適す心地よく温まり絶對に湯冷めせず湯上り氣分價千金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上一切の難病を征服する靈湯なり。

冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、其他一般消毒用として特効あり。

定價（一〇〇瓦入凡五日分　五十錢）（二五〇〇瓦入凡十二日分　一圓）（六〇〇〇瓦入凡三十日分　二圓）

其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈いたします。

石炭の御用命と共に是非御使用を御奬めいたします。

海岸線代理店　石炭商　伊藤軍二商店

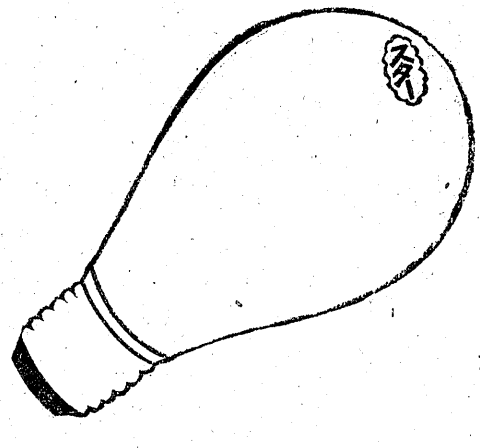
平町一丁目電話三四九番

發賣元　草津温泉研究所營業部

各町村一ヶ所に限る御申越あれ特に御相談に應ず。

特約販賣募集

ガス入電球ノ値下（グニ）次グ又値下（ク）



十燭以下十二錢…五十燭マデ十八錢

御電話ガアレバ屆ケマス。

平三　大谷時計病院　眼鏡科

電話十九番

毎度御ひいき有難ふ御座ゐます。

うなぎ御用命は

うなぎ奴

平町田町（電話二二番）

ホール御座敷の設備あります。皆樣の御立寄を！

生花教授

池ノ坊流　生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。

平町四丁目和泉屋旅館

須藤まつの

專門　一般内科

内科ハ何デモ診療致シマス

呼吸器病バカリデハアリマセン

平町南町六五（電話一八一番）

川井内科診療所

醫學士　川井重之

女醫　川井安子

滿洲里國境警備隊員中 郡出身四名も監禁さる

憂慮さるる今後の成行き

滿洲里國境警備隊員で目下蘇炳文軍に監禁されてゐる邦人中郡關係次の如し

△下小川村大字關場字高垣四五(行衛不明)警士 箱崎慶三郎(三六)△上小川村字椚平二草野正保(三四)△草野村下神谷字東大苗代一二〇同阿部利男(二四)△夏井村大字大越字根廻三八同渡邊正(三)

出動！また出動で 席温る暇が無い

小名濱町出身の小松主税君が 母校磐中へ寄せた近信

私達は去る四日以來出動しました。朝に□□にあれて昨夕三時頃××へやつてゝ夕には山中で送ると云ふ來たばかりでしたが又某方様に、我々は（此間四行削面へ匪賊討伐に明日行きます、實に今月は出動月でありまして來月の一日に××へ來ます、然しそれも又○した。奉天靖安遊擊隊へ入○へ行くか△△子の方へ又る事が最も可能であります□□行くかは疑問でありま内地でも相當寒くなつて參す。最近歸順申込中の匪賊つたでせう、當方は大部雪が滿洲里事件あつて以來蜂も降りましたが今年は最低起した樣でありますそれで零下十七度で昨年よりは十各地の匪賊は所々に起つて三度も暖い樣であります。我々の討伐又度を重ねて參除）樣であります。私は除隊の節は在滿する考へで昨○人骨。千三四百年前に於ける二十歳前後の青年、佛教傳來以前らし〳〵恐らくは此地の開拓者ではな成つた小石の堆積があり人骨は最初ここから出たもの○矢の根。同樣千四五百年

暗黑へ逆戻り

出所早々性根を出して 昨深更平署に捕はる

昨二日午後十一時頃平署前吉(三八)で同日午後七時頃新を徘徊して居る擧動不審な川町鐵道員青木某の留守宅男あるを密行中の平署員がからオーバーと自轉車を窃發見連行せんとした處矢庭取した事自白した、同人は に自轉車で逃走せんとした窃盗で三年の服役を了し去のを取押へたが右は當時住月五日山形刑務所を出所後所不定無職樺太榮濱郡榮町各地で窃盗を働き二十八日村生れ窃盗前科三犯川部定平町に入り込んだもので合

磐中人國記 四

赤井嶽男記

△勇敢な裸足通學

當時磐越線こそ未だ出來なかつたが乘らうと思へば汽車の便も無い譯では無かつた。而も親の大病の時でも無ければ敢て之に乘るものにせず大ていは訓盲院の生徒のあたま程ある麥飯に背嚢へ雜居させて雨の日などには裸足でせつせと平商野球決勝戰は愈明四日赤坂投手に信頼するのは當然であるが前回同樣の制球で打撃を封ずれば結局投手の不振に鑑み冒戰となり貧打裡の凡失に勝頭杉浦投手をたてゝ前半を敗の鍵が握られてゐるが守切り拔け石坂を救援とし案備から見ると平商は磐中に氣で三四里位を通つたもん徒として第一回には果して

地方球界の豪華版 磐中平商決勝戰

明午前十時から高月台で

一勝一敗の清算をなす磐中外樂に勝つか、平商は勿論平商野球決勝戰は愈明四日赤坂投手に信頼するのは當午前十時から磐中球場に於然であるが前回同樣の制球て開催されるが磐中では前で打撃を封ずれば結局投手回石坂投手の不振に鑑み冒戰となり貧打裡の凡失に勝頭杉浦投手をたてゝ前半を敗の鍵が握られてゐるが守切り拔け石坂を救援とし案備から見ると平商は磐中に

發送炭量依然減少

去月中の差一萬三千餘噸

去月二十一日より三十日迄の常磐炭山元發送高は

営業用三、三〇〇車　四一、四七七噸　省用一、三五三車　二〇、〇二一噸　合計四、六五三車　六一、四九八噸

で前年同期に比し営業用四九三噸増省用二、四四〇噸減差引一、九四七噸の減で

同月中を通算すると一三、四三四噸の減となつてゐる

政友會總會

立憲政友會縣支部總會は來九日福島市公會堂に於て午前十時代議員會、午後一時支部總會を開き終つて大懇親に移り午後五時新開座で政談大演說會を催す

磐中人國記

井嶽男記

△勇敢な裸足通學

當時磐越線こそ未だ出來なかつたが乘らうと思へば汽車の便も無い譯では無かつた。而も親の大病の時でも無ければ敢て之に乘るものにせず大ていは訓盲院の生徒のあたま程ある麥飯に背嚢へ雜居させて雨の日などには裸足でせつせと平商野球決勝戰は愈明四日赤坂投手に信頼するのは當午前十時から磐中球場に於然であるが前回同樣の制球て開催されるが磐中では前で打撃を封ずれば結局投手回石坂投手の不振に鑑み冒戰となり貧打裡の凡失に勝頭杉浦投手をたてゝ前半を敗の鍵が握られてゐるが守切り拔け石坂を救援とし案備から見ると平商は磐中に

鮪漁場調査

磐城丸昨日歸港

磐城丸は鮪漁場調査の爲去月二十三日以來出動中の處銚子東方沖合にてマカヂキ五百四十尾、キワタ鮪一尾、カバチ十六尾、鮫五十尾を釣獲し昨二日午前十時小名濱に歸港した

好間から出た白骨は 千三四百年以前の物

八代縣囑託の鑑定

好間村愛谷堀之内一七伽藍主栗城一九氏が去る十七日自宅南西十間の傾斜地から人骨、矢の根、古型鐵鍋等を發掘した旨既報の如くであるが右に關し縣史蹟名勝天然記念物調査囑託八代代議定氏は一昨一日同所に至り現物を實見の上左記の如く鑑定した

以前のもの。

○古型鍋。三四百年以前の物、想ふに一度發掘された前記人骨を二度と出ない樣にとの迷信から之に冠せたものでないか？。尚は鑑定當日人骨發見の現場より二間程上方の傾斜に於て八代囑託により發掘された長三尺程の俗稱コンクリート（水成岩）は當時のカラウドで材料は同地産のものでなくその周圍に人工に成つた小石の堆積があり人骨は最初ここから出たものであらうと

年靈に生きよ！と 寒夜に叫ぶ

聽く人もまばらな街頭 救世軍の一隊

……（D）……

▽　△

陽は沈んで身に泌みる赤い樣にとの迷信から之に冠せたものでないか？。

腸へしみるやうな城山の鐘が忙しい師走の雰圍氣を

車のオンバレード。雜音の喧噪、慌だしい師走の一日は『夕』から『夜』へ移らんとして居る。

▽　△

抑へる如く鳴り響く頃は日はとつぷりと暮れ果てさらでだに冷い木枯は夜の寒氣に――時は移り早起きの小僧が火鉢抱へてまどろむ時分。何時來たか局の前には救世軍の一團が……。

▽　△

『我が主イエス――我を愛す、我君のため社會を棄てゝ……』

と四、五人の合唱、それを圍む幼。老。男。女。歌ひ終ると中の一人が一歩進み唸る。

終れると街頭講演だ、滿は太鼓である、歌である。師走！師走！砂を吹き捲つて夜風は一としきり電線に唸る。

（玲光生）

東郷文部次官講演

本縣主催國民更生指導講演會は十三日午前十時から平第三校に於て開催文部省政務次官東郷實氏の演說あるが時局柄町村吏員、男女青年團、學校職員　町民の聽聽を當局では希望してゐる

受驗難八十名か ら一二名

◇局員たる難い哉

平局では一、二の兩日磐城訓盲院に於て仙臺遞信講習生採用試驗を行つたが受驗者八十名中算術の關門を突破した者は二十二名で合格は一、二名の見込であると

政府米三百石 平から申請

羅災農民救濟施設

平町では災害農民救濟の爲

他聞を憚る病人の 弱味に附け込む

萬人の藥を高値に賣る 惡德漢に鐵槌

內鄉村高坂賣藥行商遠藤勝德漢が非常に多い模樣で被治(三九)は一日同村綴堀坂高野ウメノ(四)が婦人病に惱んで居るのを知り醫師と偽つて診察をした上怪しげな丸藥二壜を六圓で賣り付け更に良藥を買つてやると言ひ賣藥巧に三十圓を詐取した事發覺昨二日平署に檢擧され醫師法違反及詐欺で告發されたが此種他聞を憚る病人の弱點に附け込み二束三文の賣藥を高價に賣り歩く不如何なる人物を如何なる方面に送つてゐるか。まくらが大分長くなつたので今日は一つ愈々本論に踏み込む事にしやう。名簿をいろは順に組んで當時の成績をカムフラジュして居る編纂者の好意が嬉しい。

△完成された人々

1　磐城六郎氏（下小川）大阪高工を出て獨逸染料會社の技師に納まつて居る。母校磐中を辱めざる成功者と云ふ事に恐らく異存はあるまい。

玉よし落成

明四日から開業

平町南町川岸通り料理店玉よしでは今夏中類燒以來新

他聞を憚る病人の 弱味に附け込む

萬人の藥を高値に賣る 惡德漢に鐵槌

內鄉村高坂賣藥行商遠藤勝德漢が非常に多い模樣で被治(三九)は一日同村綴堀坂高野ウメノ(四)が婦人病に惱んで居るのを知り醫師と偽つて診察をした上怪しげな丸藥二壜を六圓で賣り付け更に良藥を買つてやると言ひ賣藥巧に三十圓を詐取した事發覺昨二日平署に檢擧され醫師法違反及詐欺で告發されたが此種他聞を憚る病人の弱點に附け込み二束三文の賣藥を高價に賣り歩く不

受驗難八十名か ら一二名

◇局員たる難い哉

平局では一、二の兩日磐城訓盲院に於て仙臺遞信講習生採用試驗を行つたが受驗者八十名中算術の關門を突破した者は二十二名で合格は一、二名の見込であると

政府米三百石 平から申請

羅災農民救濟施設

平町では災害農民救濟の爲

郡町村長 支會總會

六日午前九時から平町會議事堂に開催、災害農民救濟の陳情經過報告並に之が實施に促ふ各種の打合せを縣に申請する事となつた

稅務署異動

平稅務署前吉(三八)で同日午後七時頃新

昨二日午後十一時頃平署前吉(三八)で同日午後七時頃新を徘徊して居る擧動不審な川町鐵道員青木某の留守宅男あるを密行中の平署員がからオーバーと自轉車を窃發見連行せんとした處矢庭取した事自白した、同人は に自轉車で逃走せんとした窃盗で三年の服役を了し去のを取押へたが右は當時住月五日山形刑務所を出所後所不定無職樺太榮濱郡榮町各地で窃盗を働き二十八日村生れ窃盗前科三犯川部定平町に入り込んだもので合

署焦務課長笠森乙太郎氏は山形縣長井署へ、後任は下附伊署より大場辰雄氏着任する

玉よし落成

明四日から開業

平町南町川岸通り料理店玉よしでは今夏中類燒以來新

磐中職員會議

生徒毆打事件を惹起した磐城中學校

では今三日の職員會議に於て具体的對策を講ずるものと見られてゐるが問題の中心人物たる横井敎諭は實父重篤の報に接し昨二日以來欠勤してゐる

內村敎諭視察

磐城高女

內村敎諭は縣視學委員と

飯野小學創立記念

飯野村小學校

では創立十週年記念のため十日から三日間郡下小學校兒童の作品展覽會を開くが審査員は磐中の近藤敎諭でも併せ尚は農産物品評會をも併せ催すと

小名濱町會

七日午前十時から開催、小學校增築費五萬五千圓起債の件其他に就て協議する

學校先崎訓導記念品贈呈式は今三日午後二時から同校內に於て行つた

。。。